

JAだより



—自然のめぐもりと暮らしたくて—



HBAサマーセール展示風景



Ai-ba祭目和となりましたが……

Ai-ba祭が行われる

8月3日、ホッカイドウ競馬支援事業実行委員会主催のもと、さくらセシモニーホールで、今年2回目となるAi-ba祭が行われました。

今回のAi-ba祭では、従来のさくらセシモニーホール内に加え、駐車場に大きなテントを2張設置し、開放的な雰囲気の中、ピアガーデンのようなスタイルでホッカイドウ競馬を楽しんでもらえる趣向で行いました。

当日は、そのことを後押ししてくれるように日が沈んだ後も暑く、屋外でも心地よく過ごせるビールの美味しい夜となりました。

しかし、「好事魔多し」とはこのことで、日中上がり過ぎた気温によって発生した濃霧により、この日の門別競馬は第10レースから第12レースまでの3レースが競走取り止めとなりました。祭も中止せざるを得ない状況となってしまいました。



初の試みのピアガーデンスタイルです

その競走取り止めによる3レース分の発売中止、返還の影響もありましたが、皆さんのご協力もあり、Ai-ba静内での発売金額は、計画対比224・13%となる2,167,300円を達成しました。

次回、9月6日のAi-ba祭においても今回と同様の趣向で実施が予定されています。

その際には、是非ご家族、ご友人お誘い合わせの上、多数のご来場をお待ちしております。

ホッカイドウ競馬 News Vol. 12



圧巻の追い込み勝ち!

「太陽の瞳特別」が行われる

7月27日、ホッカイドウ競馬企業協賛レースの「太陽の瞳特別」が行われました。

レースは、今年からナイター競馬でも実施できるようになった内回り1600mの7頭立てで行われ、勢いよくスタートを決めた1番人気のラヴィーグランと2番人気のサンローズが、1コーナー、2コーナーと後続を引き離すように併走し、向こう正面での後続との差は7馬身程度まで広がり、馬群全体では20馬身程度まで広がる縦長の展開となりました。

レースが動いたのは3コーナー手前で、サンローズがまずは脱落、それに合わせて後続も差を詰め始めたものの、ラヴィーグランとの差はなかなか縮まらず、セーフティリードを保ったまま最後の直線に向かいました。

しかし、スタートで出遅れ、道中も先頭から20馬身離れた最後方を追走していたクラウンハンターだけは、3コーナー、4コーナーと岩橋勇二騎手のアクションに応じてグングンと加速し、直線半ばでも「逃げ切り濃厚」と思えた差をゴール前で見事に交わし、豪快な追い込み勝ちを決め、優勝を飾りました。

また、協賛レースに合わせて実施した応援バスツアーには、雨と風が強いあいにくの天気にもかかわらず多くの方のご乗車があり、盛況のうちに終了致しました。



優勝馬関係者の皆さんと表彰式で記念の1枚

3年ぶりの開催!

JA組合員親睦ソフトボール大会が行われる

8月5日、静内川左岸緑地公園ソフトボール場で、「第30回 JA組合員親睦ソフトボール大会」が行われました。

2回の中止を挟んで、3年ぶりとなった大会には、各地区から7チームが参加し、予選はAブロック4チーム、Bブロック3チームのリーグ戦で行い、決勝戦は各ブロックとも無敗で勝ち上がった東静内チームと豊畑Bチームの争いとなりました。

試合は拮抗した内容となりましたが、最後には豊畑Bチームが9対4のスコアで、東静内チームを下す結果となりました。表彰結果については、左記の通りとなっております。参加された選手の皆様にお疲れ様でした。

優勝 豊畑Bチーム
準優勝 東静内チーム

最優秀選手賞 青木真一さん (豊畑Bチーム)
優秀選手賞 泊 仁史さん (東静内チーム)
最優秀監督賞 山田和弥さん (豊畑Bチーム)
優秀監督賞 泊 寿幸さん (東静内チーム)



開会式の様子です



3年ぶりの優勝は、豊畑Bチームでした!

黒毛和牛素牛市場販売成績

(平成28年7月市場~8月市場)

平成28年7月及び8月のホクレン北海道市場の取引結果は以下の通りとなっております。(販売金額については、全て税込み)

平成28年7月市場 (7月7日開催)

販売頭数 55頭 (去勢 32頭 めす 23頭)
販売金額 44,457,120円 (去勢 27,821,880円 めす 16,635,240円)
平均価格 808,311円 (去勢 869,434円 めす 723,271円)

平成28年8月市場 (8月3日開催)

販売頭数 54頭 (去勢 32頭 めす 22頭)
販売金額 46,238,040円 (去勢 29,353,320円 めす 16,884,720円)
平均価格 856,260円 (去勢 917,291円 めす 767,487円)

理事会報告

5月理事会 (26日)

1. 特別対策農家の対応方針について
2. 肉用牛経営安定対策補完事業及び補助残の割賦償還について
3. 規定類の変更について
4. ディスクロージャー誌の縦覧について
5. 出資金の減口について
6. 夏期手当の支給について

6月理事会 (29日)

1. 規定類の変更について
2. 農業まつりの開催について

7月理事会 (28日)

1. 対策農家の住宅新築及び住宅ローンの貸付について
2. 一般農家の長期資金の貸付について
3. 規定類の改正(案)について
4. 出資金の減口について

第28回 J A 北海道大会 パネルディスカッション

J A 北海道大会で開催したパネルディスカッションでパネリストの方たちから提言頂きました「北海道グループと J A グループに期待すること」を前号に引き続き紹介します。

2 回目の今回は、作家でエッセイストの森久美子さんと北海道農協青年部協議会の黒田栄継氏の提言を紹介します。

美しい農村景観の意味と価値

加工食品の材料にも北海道産

作家・エッセイスト 森 久美子さん



森 久美子氏

(もり くみこ)

作家・エッセイスト

農林水産省・食料・農業・農村

政策審議会臨時委員

北海道農業・農村審議会委員

美しい農村景観を守るため

輪作体系の教育を

景観について考える気持ちをお話したい。以前、写真で見た美瑛町の農村景観にびっくりした。この美しさは農業があるからこそだと気づいた。

東京に住んでいたころ、実家から届いた北海道の野菜をおすそ分けすると、食べてみないうちに「北海道のでしょ、おいしいんだよね」と必ず言われた。

その時、同時に農村景観の美しさや清涼な空気、広大な土地をイメージして買っていると思った。

札幌市民あるいは道民は、当たり前すぎて、農業生産が行われている

からこそ風景だというありがたみが欠けている。「いつまでもあると思うなこの景観」というのは、半分は冗談に聞こえるかもしれないが、かなり本気で思っている。農業が継続されないと、この景観を失い観光客も来なくなり、経済でも北海道は行き詰る。

それではどうすれば良いのか。食農教育の分野で、個人個人は頑張っただけで、農作業のご苦労や農作物のおいしさの話はされるが、案外、輪作体系を教えている機会はほとんどないのではないかと。都会の人たちにも教えて頂きたい。J A の力であればできるのではないかと考えている。

消費者に選ばれる

北海道産入りの加工食品

単身者の世帯数が、全国平均で3割以上ある。生鮮食品に使う食料費が非常に少なくなっており、外食、外食以外の中餐、調理済み食品に食料支出の44%を使っているのが2013年度の統計に出ている。

加工食品を食べている人たちが、どれだけ日本のものや道産のものを意識してくださるかが非常に重要。J A グループが一丸となって、「北海道産を使っているカップ麺」とか

表示なり宣伝文句をつけて、その分、仮に外国産の材料より10円高くても買う、という消費者を増やしていかなければならない。

北海道の目指す農業、農村の姿とすることで、550万人と共にいふことは大変すばらしい。実現できるよう、私たちも消費者の一人でもあるので力になれたらと思っっている。力強いだけでなく、今まで農業を続けられたご年配の方たちが、「自分の人生はこれで良かった」と思うような農村を作ってほしい。力強い農業・農村には、そのことも含んでいることを意識して頂きたい。A コープの買い物支援も含めて地域の人たちを守る、地味だけど J A だからできることをぜひ忘れないでやって頂きたい。

再生産できる価格で買って頂いて農業が続けられ、農村を守るために補助金を出してもらおう。国民のコンセンサスを得られるための啓蒙活動をして頂きたい。

J A グループを含め農家を守ることが、道民の健康や生活を守っていることを分かってもらうようにすることが、サポーターを育てるということだと思ふ。農業に対する理解がない人たちが、誤解なく農業を理解してくださるようこれからも頑張っ

550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」の実現に向けた組合員の役割

北海道農協青年部協議会 参与 黒田 栄継 氏

「力強いマンシヨン」

「豊かな魅力ある農村」の
実現に向けた組合員の役割

昨年、全青協会長の立場で、JAGグループ自己改革の審議に関わった。



黒田 栄継 氏
(くろだ よしつぐ)
北海道農協青年部協議会 参与
全国農協青年組織協議会 参与

その中で、国民合意を形成しているところという時の世間からの風当たりは皆さんの想像以上のものがあつた。

農協改革は、なんとなく落ち着いているような雰囲気だが、5年経ったら色々また始まる。何も終わっていない。

その中で、今回の大会で何を決めて何を指すか。現場の青年部としても自己改革を作っていくなかで何をして、何を望み、自分たちは何をやるのかを議論してきた。

やはり、農協の営農経済の事業を改めて確立してこうということになる。

北海道は、全国的にみるとダントツに確立できているが、改めて北海道が全国のインシアチブをとるくらいのことをしていく。

そのためには、職員、役員だけでなく、組合員がしっかりそこに気づいて、改めてJAGグループ全体でやるという雰囲気をつくっていくことが大事。

組合員教育という言葉に怒り出す組合員も非常に多いが、避けては通れない。私も青年部参与として関わっているのも、青年部でも、しっかりと共有認識をもって今後一緒に事業をつくっていききたい。

「550万人と共に創る」

550万人と謳ったからにはかなりのことを展開しないといけない。多くの人と繋がるためには、皆が力を出していかないとけない。

組合員と一体となり、全体で前に進む姿を作っていきたいというのが、現場のひとりとしての決意だ。

農協は良いところがたくさんあるし、私もそれにお世話になつてきた。

しかし、良いところは、実は私たちにとっては当たり前存在しており、良いと改めて考える必要がなく、わざわざそれを褒めることもなかった。

農協改革がここまで押し込まれた理由の1つに、自分たちの良さを自分たちで語れたかということがあつたかと思う。内部においては気づかない。色々な人と関わることで自分たちの価値観が明確になる。

消費者に農業の本当の価値がしっかり伝わっていないのではないかと感じる。農業者一人一人が価値を伝えていく。これだけ距離があいてしまった社会では、絶対的に私たちがやらないと次のステップに進めない。

大会議案の実践方策に何をすることが書かれているのは本当に素晴らしい。是非、これを色々な人と手を組んで実現できたら良いなということに改めて思っている。

最後に一言

550万人とつながるといふ取り組みについて、全道各地青年部また女性部は、本当にたくさん取り組みをしている。

JAGグループ全体でその取り組みを広げていき、私たち青年部、女性部は、みなさんと一緒にやっているので、頑張っていきたいと思います。



●セレクトセール2016

軽種馬 市場取引成績 (セレクトセール2016)

7月11日と12日に苫小牧市・ノーザンホースパークで、一般社団法人日本競走馬協会主催の「セレクトセール2016(サラ1歳・サラ当歳)」が開催されました。(取引価格については、全て税込)

11日の1歳馬セッションでは、市場全体で247頭(牡159 牝88)が上場され、217頭(牡140 牝77)が売却。売却率87.9%(牡88.1% 牝87.5%)、売却総額8,781,048千円(牡6,584,220千円 牝2,196,828千円)となり、平均売却価格は、40,466千円(牡47,030千円 牝28,530千円)となりました。

12日の当歳馬セッションでは、市場全体で232頭(牡160 牝72)が上場され、173頭(牡116 牝57)が売却。売却率74.6%(牡72.5% 牝79.2%)、売却総額7,356,420千円(牡5,664,060千円 牝1,692,360千円)となり、平均売却価格は、42,523千円(牡48,828千円 牝29,691千円)となりました。

今年のセレクトセールについては、1歳馬セッション、当歳馬セッションともに売却総額、

平均売却価格が過去最高となった昨年を大きく上回る結果となり、市場全体の売却総額については、昨年来を1,910,088千円上回る16,137,468千円を記録しました。

静内産馬について、1歳馬セッションでは29頭(牡22 牝7)が上場され、19頭(牡16 牝3)が売却。売却率65.5%(牡72.7% 牝42.9%)、売却総額395,280千円(牡348,840千円 牝46,440千円)となり、平均売却価格20,804千円(牡21,803千円 牝15,480千円)となりました。

当歳馬セッションでは42頭(牡35 牝7)が上場され、20頭(牡17 牝3)が売却。売却率47.6%(牡48.6% 牝42.9%)、売却総額902,880千円(牡717,120千円 牝185,760千円)となり、平均売却価格45,144千円(牡42,184千円 牝61,920千円)となりました。

静内産馬取引結果

●1歳馬セッション 静内産馬(所有者別)取引結果

	全体(前年対比)	牡(前年対比)	牝(前年対比)
上場頭数	29頭(-2頭)	22頭(+1頭)	7頭(-3頭)
売却頭数	19頭(-4頭)	16頭(-2頭)	3頭(-2頭)
売却率	65.5%(-8.7%)	72.7%(-13.0%)	42.9%(-7.1%)
売却総額	395,280千円 (-122,040千円)	348,840千円 (-83,160千円)	46,440千円 (-38,880千円)
平均売却価格	20,804千円 (-1,688千円)	21,803千円 (-2,198千円)	15,480千円 (-1,584千円)

●当歳馬セッション 静内産馬(所有者別)取引結果

	全体(前年対比)	牡(前年対比)	牝(前年対比)
上場頭数	42頭(+8頭)	35頭(+5頭)	7頭(+3頭)
売却頭数	20頭(-4頭)	17頭(-5頭)	3頭(+1頭)
売却率	47.6%(-23.0%)	48.6%(-24.8%)	42.9%(-7.1%)
売却総額	902,880千円 (+137,160千円)	717,120千円 (-27,000千円)	185,760千円 (+164,160千円)
平均売却価格	45,144千円 (+13,239千円)	42,184千円 (+8,360千円)	61,920千円 (+51,120千円)

市場全体取引結果

●1歳馬セッション 市場全体取引結果

	全体(前年対比)	牡(前年対比)	牝(前年対比)
上場頭数	247頭(+9頭)	159頭(+11頭)	88頭(-2頭)
売却頭数	217頭(+7頭)	140頭(+5頭)	77頭(+2頭)
売却率	87.9%(-0.4%)	88.1%(-3.2%)	87.5%(+4.2%)
売却総額	8,781,048千円 (+1,108,188千円)	6,584,220千円 (+859,140千円)	2,196,828千円 (+249,048千円)
平均売却価格	40,466千円 (+3,928千円)	47,030千円 (+4,622千円)	28,530千円 (+2,560千円)

●当歳馬セッション 市場全体取引結果

	全体(前年対比)	牡(前年対比)	牝(前年対比)
上場頭数	232頭(±0頭)	160頭(+8頭)	72頭(-8頭)
売却頭数	173頭(-11頭)	116頭(-7頭)	57頭(-4頭)
売却率	74.6%(-4.7%)	72.5%(-8.4%)	79.2%(+2.9%)
売却総額	7,356,420千円 (+801,900千円)	5,664,060千円 (+774,900千円)	1,692,360千円 (+27,000千円)
平均売却価格	42,523千円 (+6,900千円)	48,828千円 (+9,078千円)	29,691千円 (+2,390千円)

軽種馬 市場取引成績 (HBAセレクションセール)

◆HBAセレクションセール

7月19日に北海道市場で、HBA日高軽種馬農業協同組合主催の「HBAセレクションセール(サラ1歳)」が開催されました。
(取引価格については、全て税込み)

市場全体で238頭(牡165 牝73)が上場され、175頭(牡127 牝48)が売却。売却率73.5%(牡77.0% 牝65.8%)、売却総額2,525,904千円(牡2,102,220千円 牝423,684千円)となり、平均売却価格は、14,434千円(牡16,553千円 牝8,827千円)となりました。

静内産馬については、43頭(牡32 牝11)が上場され、35頭(牡24 牝11)が売却。売却率81.4%(牡75.0% 牝100.0%)、売却総額468,504千円(牡366,012千円 牝102,492千円)、平均売却価格は、13,386千円(牡15,251千円 牝9,317千円)となりました。

市場全体では、セレクトセールに引き続き好調な結果となり、売却総額、売却率ともに過去最高となった昨年を上回る結果で、市場全体の売却総額については、昨年来を467,316千円上回る結果となりました。

◆静内産馬(所有者別)取引結果

	全体(前年対比)	牡(前年対比)	牝(前年対比)
上場頭数	43頭(-11頭)	32頭(-15頭)	11頭(+4頭)
売却頭数	35頭(-4頭)	24頭(-10頭)	11頭(+6頭)
売却率	81.4%(+9.2%)	75.0%(+2.7%)	100.0%(+28.6%)
売却総額	468,504千円 (-80,784千円)	366,012千円 (-123,876千円)	102,492千円 (+43,092千円)
平均売却価格	13,386千円 (-699千円)	15,251千円 (+842千円)	9,317千円 (-2,563千円)

◆市場全体取引結果

	全体(前年対比)	牡(前年対比)	牝(前年対比)
上場頭数	238頭(+7頭)	165頭(-12頭)	73頭(+19頭)
売却頭数	175頭(+9頭)	127頭(-4頭)	48頭(+13頭)
売却率	73.5%(+1.7%)	77.0%(+3.0%)	65.8%(+0.9%)
売却総額	2,525,904千円 (+467,316千円)	2,102,220千円 (+376,920千円)	423,684千円 (+90,396千円)
平均売却価格	14,434千円 (+2,033千円)	16,553千円 (+3,383千円)	8,827千円 (-696千円)

燃料課よりお知らせ 免税軽油の取り扱いについて

北海道では、農業用免税軽油使用者の実態調査を行った結果、日高管内でも登録されていない機械への使用、目的外及び期間外使用が多数判明しております。このような結果を受け、日高振興局税務課より以下の通り調査を行う旨の通知がありましたので、お知らせします。

なお、使用機械の入替等に変更がありました場合には、速やかにJAしずない本所給油所までご連絡をお願いします。

※免税軽油の使用期間は、4月1日～11月30日までとなっております。また、使用目的については、登録されている機械での作業のみとなっております。

1. 調査名 農業用免税軽油使用者調査
2. 調査時期 平成28年11月～平成29年3月まで(※平成29年度も継続実施予定)
3. 調査内容 農業用免税軽油使用者(組合員)の登録機械の現物確認、免税軽油の使用状況等の聞き取り
4. 調査対象期間 平成28年度交付分(平成28年4月1日～平成28年11月30日)
5. 調査対象者 免税軽油報告書の中から調査対象を抽出

上記に関するご質問等につきましては、以下までお問い合わせ下さい。

問い合わせ先 JAしずない本所給油所(担当:鎌田) TEL 0146-42-0194

国が支える
安心が大きくなる

担い手積立年金

[愛称]

農業者の方なら広く加入できます

農業者年金は、国民年金第1号被保険者で、年間60日以上農業に従事している方であれば、どなたでも加入できます。農地を持たない農業者、配偶者や後継者などの家族従事者も加入できます。

脱退一時金は支給されませんが、加入期間にかかわらず、それまでに支払った保険料は将来年金として受け取ることができます。旧制度（平成13年12月末まで）の加入者で特例脱退した方も60歳未満であれば加入できます。

少子高齢化時代に強い年金です

ご自身で積み立てた保険料とその運用実績により、将来受け取る年金額が決まる積立方式（確定拠出型）の年金です。加入者・受給者数に左右されにくく安定した年金制度で、運用利回りの状況などで保険料が引き上げられることはありません。

保険料の額は自由に決められます

自分が必要とする年金額の目標に向けて、自分で保険料を決められます（月額2万円から6万7千円までの間で千円単位で自由に選択）。農業経営の状況や老後設計に応じて、いつでも見直すことができます。

終身年金で80歳までの保証付きです

年金は生涯支給されます。仮に加入者・受給者が80歳前に亡くなった場合でも、死亡した翌月から80歳までに受け取れるはずであった農業者老齢年金の現在価値に相当する額が、死亡一時金として遺族に支給されます。

公的年金ならではの税制上の優遇措置があります

支払った保険料は、全額（年額12万円～80万4千円）が社会保険料控除の対象となり、所得税・住民税の節税につながります。また、保険料などの年金資産の運用益は非課税です。さらに将来受け取る農業者年金は、公的年金等控除の対象となり65歳以上の方であれば公的年

金等の合計額が120万円までは全額非課税となります。

農業の担い手には手厚い政策支援があります

認定農業者で青色申告しているなど農業の担い手となる方には、国から月額最高1万円の保険料補助があります。

●保険料補助は、次の3つの要件を満たす方が受けられます。

1. 60歳までに保険料納付期間が20年以上見込まれること。
※旧制度加入者（脱退一時金、または特例脱退一時金を受給した者は除く）は、旧制度（平成13年12月末まで）の保険料納付済期間も合算できます。
2. 必要経費などを控除した後の農業所得が900万円以下であること
3. 下記の区分①～⑤のいずれかに該当する方
 - ①認定農業者で青色申告者
 - ②認定就農者で青色申告者
 - ③区分①または②の者と家族経営協定を締結し、経営に参画している配偶者または後継者
 - ④認定農業者または青色申告者のいずれか一方を満たす方で、3年以内に両方を満たすことを約束した者
 - ⑤35歳まで（25歳未満の場合は10年以内）に区分①の者となることを約束した後継者